



令和6年度も半分が過ぎました。4月にスタートを切った学生生活も折り返しです。今回は前期に行われた2つの目玉授業について、ご報告します！



初の医・看護・検査・薬 合同授業！

医療現場では多職種が連携して患者さんの問題解決に取り組むチーム医療が欠かせません。多職種連携・協働の観点から、医療環境に関する知識や考え方について、学生の段階から理解を深めておくことが求められます。同時に医療を取り巻くさまざまな問題に対し、それぞれの職種ができる貢献について考える機会になればと願い、これまでも山口大学内で、医学科3年生と保健学科(看護)の合同授業を「医療環境論」として行ってきました。本年度は、東京理科大学薬学部や保健学科(検査)の学生らも本授業に加盟し、大学横断的な科目として実施しました。本授業の実現に当たっては、1年以上前から構想を練り、入念に準備してきました。合同授業に向けた準備段階として、令和5年度は、山口大学と東京理科大学の学生らが共に医療環境の諸問題について議論を交わす「半日交流会」を設け、学生らの間にも、大学や学部の垣根を超えた交流への期待が高まっていることを実感しました。

ついに実現した両大学共同授業の第1回目は4月19日(金)に行われ、山口大学の授業が東京理科大学に配信されました。さらに、与えられたテーマについて理解を深め、解決策を探るグループディスカッションの際には、両大学の学生らが2回に分けて相互に大学を訪ね、少人数のグループに分かれて課題に取り組みました。総勢360名の学生が受講した本授業の締めくくりは、グループディスカッションの成果発表です。発表会は両大学4会場にて行われ、本学の先生方にも発表の評価者をお務めいただきました。テーマとなったトピックには、マイナ保険証や医療AI(人工知能)といったホットなものもありましたが、学生らはよく学修し理解しており、核心をついた議論が交わされました。関係いただいた全ての方のご尽力及び、学生の皆さんの協力により、初の試みである2大学共同授業を無事終えることができました。この場をお借りして、お礼申し上げます。学生らからは、「大学間の移動で、普段とは違うキャンパスでの授業が新鮮だった」、「医学科と保健学科の学生は部活動などで日常的に交流しているが、他大学他学部の学生との交流は良い刺激になった」といった意見が聞かれ、我々も手応えを感じています。生涯にわたって互いの専門職業能力を高め合うことのできる医療者になることを期待し、今後もこのような共同授業を継続していきたいと思っております。今後ご協力の程、よろしくお願いいたします。



東京理科大学との中継授業



満員の第3講義室



2大学合同グループディスカッションの様子

医学科1年生のイニシエーション-医学入門-

医学部へ入学した初年度、学生らは山口市の吉田キャンパスで主に共通教育を受けます。医師になりたいと強く願って入学した際の高いモチベーションや期待に応えるべく、医の世界の紹介と導入の役割を果たす「医学入門」という科目があります。医学教育センターでは、基盤系及び展開系講座の多くの教員の皆様のご協力を得て、多彩なプログラムで1年生に医学・医療の面白さを伝えています。4月から7月にかけて火曜日に実施した「医学入門」についてご報告します。

小串キャンパスでの学生生活で最もお世話になるであろう医学部図書館について、利用の仕方や上手な活用法について、実際に図書館に赴き、レクチャーを受けました。

医学部図書館ツアー



晴天に恵まれ、救命救急センターのご協力により、ドクターヘリや管理室の見学をさせていただきました。気分はすっかり“コードブルー”で、興奮気味の1年生でした。

ドクターヘリ見学



宇部市社会福祉協議会の方々をお招きし、手話を必要とする人々の実態について学びました。明日から使える手話もお教えいただきました。

手話体験学習



自殺に関する研修会 高次脳機能病態学講座、法医学講座にご協力いただき、本年度も充実した自殺予防教育を行っていただきました。自殺者の実態、自殺を防ぐ方法について、ロールプレイを通して、理解を深めました。

高齢者施設体験訪問実習

コロナ禍で中止となっていた高齢者施設体験訪問実習を本年度より再開しました。

県内18の高齢者施設及び、慢性期の患者さんが入院される医療療養型病院にご協力いただき、各施設少人数ずつ、体験型の実習を行いました。悪天候により中止を余儀なくされた施設もありましたが、現地に赴いて実習できた学生らの満足度は極めて高いものでした。

医学部附属病院見学

24の診療科・部門にご協力いただきました。コロナ禍で中止していた手術室の見学も再開となり、実際の手術を間近で見学できた学生もいました。検査や治療についても関心が高く、細部に至るまでメモをとる学生の姿が印象的でした。



解剖実習見学

神経解剖学講座のご協力により実施しました。

ご献体に黙祷を捧げたのち、緊張気味にご献体に近づく1年生でしたが、2年生の堂々とした姿に緊張も緩み、積極的に質問する姿も見られました。

例年、山口大学医学部をフレッシュマンセミナー

ご卒業され多方面でご活躍されている先輩より、学生らへ激励のメッセージを込めたご講演をいただいています。山口大学学長 谷澤幸生先生をお招きし、熱いご講演を賜りました。



4月に入学したばかりの緊張気味の1年生は、今では肩の力も抜け、学生生活を満喫している様子です。本科目では、見学実習や講義の度にレポート提出を求めており、初めは、高校時代までの感想文とは異なる「お作法」に戸惑いも見られます。本科目の序盤で「レポートの書き方」という講義を設け、例年、神経生理学講座の木田先生に熱弁をふるっていただいています。そのおもしろくてわかりやすいご講義の賜物で、学生らのレポートは大学生らしいレポートにどんどん進化していくのを感じます。さらにそのレポートをもとに、基盤系講座の先生方と少人数のグループディスカッションを交わし、学生それぞれの体験について掘り下げます。実際の医療現場に触れ、新鮮さを感じ期待が膨らむ一方で、その体験の言語化と議論が、記憶としての役割のみならず、より深い考察として、今後の医師への道のり、そして医師としての生涯教育の礎となってくれることを信じています。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp